



子どもたち 先生方の笑顔のために

共に歩まん

壁面に掲示してご活用ください



令和4年6月13日発行

第5号

長野県中信教育事務所

←過去の「共に歩まん」はこちら

シリーズ「ここが大切 授業づくり」 社会科編

単元のまとまりを意識した授業展開を考えましょう!

ステップ1

単元で育成する資質・能力を確認し、評価規準を作成しましょう!

単元を通してどのような資質・能力を育成するのかを学習指導要領解説で確認しましょう!
育成する資質・能力を確認することで、何を評価するのが明らかになります。

例) 小3 「わたしのまち みんなのまち」 の評価規準

知識・技能

- ①自分たちが住む身近な地域やA市の様子を大まかに理解している。
- ②観察・調査をしたり、地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめている。

思考・判断・表現

長野県内におけるA市の位置、地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、身近な地域やA市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現している。

主体的に学習に取り組む態度

- ①自分たちが住む身近な地域やA市の様子について、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

参考資料「指導と評価の一体化」の巻末資料にも、単元の評価規準例が記載されていますよ!



ステップ2

単元のねらいを達成した子どもの姿を具体的にしましょう!

単元の終末場面で、子どもにどのようなまとめの文章を書いてほしいのかを育成したい資質・能力をもとに教師が具体的に書いてみましょう。

A市の北側の低く平らなところには、鉄道や高速道路が通っていて、私たちの暮らしを支えるために働いている市役所などの公共施設や古い建物があ、人がたくさん集まっている。また、西側には山があって土地が高く、りんご畑などの果樹園が広がっていて、北側に比べて人はあまり集まっていない。つまり、A市には様々な場所があり、地形や土地の使われ方、道路の広がりなど、市内の様子は場所によって違いがある。

ステップ3

この文章と、ステップ1の資質・能力を見比べてみましょう!



「単元の学習問題（単元を貫く学習問題）」を考えましょう!

ステップ2のような記述でまとめていくための「単元の学習問題」を設定しましょう。

単元の学習問題:わたしたちのA市は、どのようなところなのだろう

単元のまとまりを意識した授業展開を考える際には、育成する資質・能力をもとに、単元のスタートである問い「単元の学習問題」と単元のゴール「ねらいを達成した子どもの姿」を具体的にすることが大切なんだね。単元の終末では、再び「単元の学習問題」にもどり、まとめていく単元展開を考えてみよう!

